

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：農林水産業費 項：林業費 目：林業振興費

事業名：水源林公有林化支援事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

林政部 治山課 水源林保全係 電話番号：058-272-1111 (内 3168)

E-mail：c11519@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 15,486 千円 (前年度予算額：15,486 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	15,486	0	0	0	0	0	15,486	0	0
要求額	15,486	0	0	0	0	0	15,486	0	0
決定額	15,486	0	0	0	0	0	15,486	0	0

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

水源のかん養や生物多様性の保全等の公益的機能が広範囲に及ぶ重要な森林のうち、荒廃もしくはそのおそれのある森林で、取得目的が不明な取引等により早急に公的な管理を行う必要がある森林について、地域住民の安全で快適な生活環境を守るため市町村による公有林化を進める。

(2) 事業内容

水源林公有林化支援事業費補助金

- ・市町村が早急に水源林として公有林化する必要のある森林の取得に要する経費の補助

(3) 県負担・補助率の考え方

〈補助率〉 森林購入後、保安林として将来にわたり森林として管理するもの。 県 10 / 10 以内
 森林購入後、保安林以外の方法で将来にわたり森林として管理するもの。 県 1 / 2 以内

(4) 類似事業の有無 無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	15,000	水源林公有林化支援事業費補助金
旅費	107	業務旅費
需用費	3	事務用品代
役務費	376	郵送代等
合計	15,486	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

・長期構想

IV 美しい自然と環境を守る「清流の国」づくり

1 森・川・海をつなぐ清流とふるさとの自然を守る

・森林がもつ水源かん養機能など多面的な機能を維持・増進し、健全で豊かな森林をつくる取組を進め、岐阜県の自然と水源を守る。

・第三期 岐阜県森林づくり基本計画

1 健全で豊かな森林づくりの推進

(2) 森林の適正な保全

・岐阜県水源地域保全条例第9条に基づき、水源地域の保全に関する基本方針

(2) 後年度の財政負担

市町村が公有林として管理するため、後年度の県の財政負担は、生じない。

(3) 事業主体及びその妥当性

市町村が岐阜県水源地域保全条例で指定された水源地域の公有林化を進め、適切に森林を管理するため県が支援することが妥当である。

県単独補助金事業評価調書

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

補助事業名	水源林公有林化支援事業費補助金
補助事業者（団体）	市町村 (理由) 森林の適正な管理を行うために最適の事業者である。
補助事業の概要	(目的) 水源のかん養や生物多様性の保全等の公益的機能が広範囲に及ぶ重要な森林のうち、荒廃もしくはそのおそれのある森林で、早急に公的な管理を行う必要がある森林について、地域住民の安全で快適な生活環境を守るため、市町村による公有林化を進める。 (内容) 市町村が早急に水源林として公有林化が必要のある森林の取得に要する経費の補助
補助率・補助単価等	定額・ 定率 ・その他（例：人件費相当額） (森林購入後、保安林として将来にわたり森林として管理するもの。 県 10 / 10 以内 森林購入後、保安林以外の方法で将来にわたり森林として管理するもの。 県 1 / 2 以内) (内容) 森林の取得に要する経費 (理由) 期待される森林の公益的機能の発揮度合に応じ助成する
補助効果	外国資本等の森林買収に対するセーフティネットとして、地域住民の安全で快適な生活に必要な水道水源を永続的に確保できる。
終期の設定	終期 3 年度 (理由) 森林・環境基金事業（第 2 期）の終期

(事業目標)

<p>・ 終期までに何をどのような状態にしたいのか</p> <p>外国資本等の森林買収に対するセーフティネットとして、令和 3 年度までに 85 ha の森林取得に対応できる予算措置としている。</p>

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	(第 1 期)		(第 2 期)
	事業開始前 (H23 年度末)	目標 (R2 年度末)	目標 (終期)
① 水源林の公有林化面積	0 ha	68 ha	85 ha

年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R2 年度	R3 年度
補助金交付実績	6,946 千円	6,243 千円	8,213 千円	(予算額) 15,000 千円	(要求額) 15,000 千円
指標①目標	17 ha	17 ha	17 ha	17 ha	17 ha

指標①実績	17.77ha	10.08ha	17.74ha	(推計値) 13.98ha	-
指標①達成率	104.5%	59.3%	104.4%	82.2%	-

セーフティネットとしての予算措置であり、目標達成率は参考数値である。

(前年度の成果)

市町村が水源林を公有林化し、適切に森林を管理することで、地域住民の安全で快適な生活環境を守るセーフティネットの役割を果たした。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項
「岐阜県水源地域保全条例」と整合を図りながら、必要に応じて補助制度の見直しを行う。

(事業の評価)

<p>・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い</p>	
(評価)	<p>○ 市町村が水源林を公有林化し、適切に森林を管理することで、地域住民の安全で快適な生活環境を守るセーフティネットとしての役割を果たすことから必要性は高い。</p>
<p>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない</p>	
(評価)	<p>○ 地域の実情を把握している市町村からの要望に基づき、水源林の公有林化を進めており、事業効果が発揮されている。</p>
<p>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある</p>	
(評価)	<p>○ 随時、市町村からの要望を把握し、必要性を判断しながら、水源林の公有林化を進める。</p>

(事業の見直し検討)

--

(終期到来時の翌年度以降の事業方針)

<p>継続・削減・統合・廃止 (理由)</p>
